



うさぎだより

中野区議会議員●無所属

佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001 中野区中野 1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野 4-8-1 無所属控室 TEL.3228-8874
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail:usagidayori@hotmail.com 編集・発行:住民自治をすすめる政策研究会



湯浅誠さん(内閣府参与)と石川治江さん(立教大学院教授)が田中區長を訪問。私も同席。

厳しい経済状況の中、失業者が増えています。しかし、政府はまだ、有効な景気対策や雇用対策を打ち出せていません。景気の大幅な後退で、中野区の税収も大きく落ち込み、来年度は66億円を超える税収減が予想されています。どのような状況になっても、自治体は人々の暮らしを支え続けなければなりません。生活支援や雇用支援を、しっかりと継続的に行うよう、提案していきます。

セーフティネットをしっかりと

国に先駆け 中野区で離職者支援の 総合相談窓口を実施!

失業して生活保護におちいる手前で救済するために、昨年「第2のセーフティ

ネット」といわれる対策が行われている。訓練・生活支援給付、就職安定資金融資、住宅手当、臨時特例つなぎ資金など。

しかし、窓口がハローワークや役所、社会福祉協議会と複数に渡り、手続きが複雑であることなどで利用しにくい。

政府は自治体に協力を求め、11月30日に、窓口を一つにまとめ、ハローワークで、一日だけのワンストップ・サービスを試行した。しかし、これからは厳しくなる時期への継続的な対応がない。自治体で総合相談を行なった方が、身近で便利。

そこで、区長は区で総合相談を行なうことを提案。11月30日の中野区議会臨時会で、中野区で独自に、12月中旬から来年3月まで、生活支援分野で「離職者等支援総合相談」を行う補正予算を可決した。委託費と窓口設置の改修費

で約570万円の予算。生活支援分野の隣の喫煙室を改修し、臨時相談窓口を設置し、生活相談、住宅手当相談、就職相談、貸付相談など総合的な相談を行う。NPOに委託し、週5日2人相談支援員を配置。また、ハローワークや社会福祉協議会の職員も区の窓口に派遣してもらう。

元派遣村村長で、現在、内閣府参与として、貧困や雇用問題にあたる湯浅誠さんは、中野区の素早い対応を評価。

政府の制度改正の動きは?

政府は、後期高齢者医療制度の廃止、障害者自立支援法の廃止を表明。しかし、具体的

にどのような制度に変えるのかは明らかになっていない。後期高齢者医療制度について厚生労働大臣は、2012年度に廃止し、2013年度に新制度に移行したいと表明。

また、障害者自立支援法については、4年以内に新しい法律に移行するとし、まず、障がい者制度改革推進法を制定し、委員会を設置して、3年後に新しく「障がい者総合福祉法」を制定するとしている。

したがって、新制度移行まで約3年半は、基本的には現在の制度が続くことになる。負担の軽減策は先に行なわれるようだが、財源を安定的に確保していくための税制改正も必要だ。

2008年度決算から見る 中野区のお財布

●貯金は増えてきたが借金はまだ多い

●中野区の貯金残高	371億円
内訳	
特定目的基金	130億円
減債基金	38億円
財政調整基金	203億円

●中野区の借金残高 655億円(土地開発公社含む)

特別区債残高	411億円(前年度より55億円減)
土地開発公社の金融機関借入金残高	244億円(前年度より本町5丁目用地購入で131億円増)

●正味資産は増えている

2008年度連結バランスシート

(国保・老健・介護・後期高齢特別会計+土地開発公社+中小企業退職金共済会+福祉サービス事業+野方駅整備(株)+(株)まちづくり21を全部足す)

資産合計	3,413億円(前年より229億円増)
負債合計	967億円(前年より106億円増)
正味資産合計	2,446億円(前年より193億円増)

2009年度 第3回定例会 決算総括質疑

区長のマニフェストの検証を

佐藤 二期目当選後、区長は「マニフェストをホームページなどでも明示できるようにしたい。」と答弁していたが、どのように明示されているのか？

区長 できていない。
佐藤 生駒市長や浜松市長などは市のホームページにマニフェストの評価を定期的のせている。マニフェストは検証が可能であることが必要な条件だ。事後の評価についてはどのように考えているのか。

区長 その期のマニフェストなので、期を単位として評価するべきだと思っている。
佐藤 任期の4年もあと半年時点で達成状況をどのように評価しているのか。

区長 かなりの部分達成したり、着手したりしているが、まとめて考えていることはまだない。

佐藤 区の財政を立て直していく政策はきちんとつくってきたと評価しているが、もう

一つの大事なポイントである、区民の力を生かす政策の実現が遅れている。「環境と緑を守る区民ファンド」や「住民が管理運営する区民活動センター」など遅れている。なぜすまないのか。

区長 私としては動きを作り出そうとできる限りのことをやっている。形が出来上がればいいということではなく、議論としてすすんでいることはいいことだと思っている。
佐藤 区民活動センターについてはいろいろな議論や異論もあるが、やる気のある地域から先行して始めて、検証しながら全地域への実施のあり方を考えて欲しい。

インクルーシブな教育を

佐藤 10か年計画(第2次)素案の中で、「特別支援学級の増設」と「小中学校全校に特別支援教室の整備」が提案されている。2006年国連で採択

された「障害者の権利条約」の第24条に「障害者が障害を理由として教育制度一般から排



除されないこと。」と、あらゆる段階におけるインクルーシブな教育制度、すなわち障害のある子もいない子もいっしょに学習ができること、そして、個人の必要に応じた合理的配慮を行なうことを求めている。

インクルーシブ教育についてどのように考えているのか。
教育委員会副参事 一人ひとりのニーズに応じて支援していくということだ。

佐藤 日本の障害児教育はこれまで分離することに力点が置かれてきたが、地域でいっしょに生きるために支援するのだという考え方が大切だ。固定学級から通級学級や普通学級にうつるのが難しかったという話を聞く。選択の自由を保障するべきだ。
教育委員会副参事 固定学級から通常の学級に戻れたケースもあるの、親御さんとも十分に話し合っていきたい。

学校で精神疾患の学習を

佐藤 三重県のある市で5千人の中学生のアンケート調査をしたところ、15%の子どもが精神病的状態を呈しているという回答があった。今、思春期の子ども達の精神病理の問題は未曾有の広がりを見せているという。子どもの精神的不調に気がついた時の最初の相談先の多くが教育機関で、ウツや統合失調症などの精神疾患について、正しい理解を教える必要性が指摘されている。区での取り組みはどうか。

指導室長 精神疾患についての学習内容は学習指導要領に入っていない。
佐藤 精神疾患についての的確な情報を持ち対応できるように、教員の研修についてはどう考えているのか。

指導室長 メンタルヘルスを含めた子ども達の健康観察の重要性が示されているので、研修をすすめていきたい。

スクールソーシャルワーカーの充実を

佐藤 ひきこもりの子ども達の問題も大きくなっている。出向いていく相談員が必要だ。昨年度スクールソーシャル

ワーカーを導入して効果をあげていると聞く。増員をしようか。

指導室長 昨年度から2名のスクールソーシャルワーカーを配置し、家庭訪問などを行った。これまでは文部科学省の予算だったが、来年度から区が3分の1負担になる。現状維持ですすめたい。

土地の売却・購入に基準を

佐藤 10か年計画(第2次)素案で、13か所の売却予定地が示されている。その中の野方1丁目の用地は、土地開発公社で取得してから20年以上も何の用途にも供されていない。なぜ、20年間も塩漬けのままだったのか？

政策室副参事 用地購入目的の老人アパート整備が初期の段階から困難という状況があった。他の施設への転用も土地の制約等があった。結果として整備に至らなかったの

で売却という方針を示させていたのだ。
佐藤 保育園跡や児童館跡も売却する土地としない土地がある。中野保健所跡の土地は10か年計画より先なのに、もう売却という提案になっている。13か所の土地は、どうい

考え方で売却としたのか。
政策室副参事 新たな施設整備の財源にしたい。転用が困難なものであるとかさまざまな視点から総合的に検討し、活用が見込めないものを選定した。

佐藤 土地の売却や購入にあたって、基本的な考え方を示すべきだ。

厚生委員会で

**これでいいの?
 ペット等飼養に関する
 条例の考え方**

昨年から厚生委員会で議論が続いている。やつと動物愛護の精神にもとづく理念に修正されたが、まだ罰則規定などが納得できない。

**だいたいどうぶ?
 地域支えあいネット
 ワーク**

「すこやか福祉センター職員が、支え合い対象者全員を年一回訪問調査」や「24時間の緊急時連絡態勢」「町会・自治会等への個人情報簿の交付(70歳以上の1人暮らし・75歳以上の2人暮らし・障害者)」など、「地域支えあいネット

ワーク推進条例」の骨子が提案された。

**中野駅周辺・
 西武新宿線沿線
 まちづくり特別委員会で**

**中野サンプラザの
 今後は?**

「(株)まちづくり中野21」から、区役所・サンプラザ地区の再整備の基本方針が決められた。

「ホール機能を中心に、区のシンボルとなる施設」「環境にやさしい施設」「東京の顔とな

るランドマーク性に優れた建築デザインとする」などの提案がされている。所有会社として、将来は建て替えを予定しているようだ。

本年度中に、区はたたき台をまとめる予定。「(株)まちづくり中野21」は、区と協議してサンプラザ再整備の基本構想案を2012年5月末までに作成、6月末に基本構想決定、2014年5月末までに実施計画を作る予定。

税金の投入は今後考えていないとのことだが、区財政に負担をかけない計画となるようチェックしていきたい。

大規模公園を6カ所整備

整備を計画している大規模公園は、中央部防災公園、南部防災公園、本町5丁目公園、本町2丁目公園、鷺の宮調節池上部多目的広場、上高田5丁目公園。緑の公園の少ない中野区全域に順次、大きな公園をつくっていく。財政負担を考えた整備計画が必要だ。

**中央部防災公園
 基本設計(案)**

来年度から2年間で工事をを行い、2012年に完成予定。

10月26~31日
朝鮮民主主義人民共和国を訪問

関東・関西の超党派の地方議員で朝鮮民主主義人民共和国を訪問した。拉致や核問題で日本と国交のない国。だからこそ、この機会に、少しでもその土地や人々の様子を知りたかった。



板門店の軍事境界線では、同じ言葉を話す同じ民族が分断されている悲劇を深く感じる。



平壤産院は、産科だけでなく歯科や眼科等から、不妊治療まで行う女性専門の大病院。お産も

治療も全て無料だそう。私にとって一番良かった事は、日本人として初めて、朝鮮障害者保護連盟を訪問した事。ヨーロッパ諸国などの支援を得て、国際基準を目指して障害者施策を進めているという。国連機関の日本人とも連携をとってきたそうだ。

この国に、ほんの少し触れたただけだが、閉ざすのではなく、人々が行き来することはなく、理解が進み、問題の解決にもつながっていくのではないかと思う。

佐藤ひろこの収支報告

2009年8月~10月

		8月	9月	10月
収	報酬	588,200	588,200	588,200
	費用弁償	6,000	3,000	24,000
支	税金	75,210	75,210	75,210
	年金・保険	178,460	178,460	178,460
	活動費	78,624	25,134	69,938
出	積み立て	6,000	3,000	24,000
	残	¥255,906	¥309,396	¥264,592

*議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。なくすべきだ。区への返金は法的にできないので、積み立て、区外の団体に寄付をしている。

多目的広場、林間広場、水景広場などが整備される予定。

佐藤ひろこの活動日誌から

- 8月
- 18 障害者防災委員会
- 22 自治体議員政策情報センター全国研究集会
- 24 立命館大学院アカデミックライティング発表
- 26 谷戸小でコースの練習
- 27 タッチの会
- 30 童謡祭に谷戸ファミリー合唱団で出演
- 9月
- 3 厚生委員会
- 4 中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり特別委員会
- 四川大地震記録映画鑑賞・10か年計画素案意見交換会
- 8 補正予算内示・手話奉仕員養成講習講演会
- 12 9中家庭地域教育学級「水越九いこさん講演とコンサート」
- NPOねこの手「障害者の自立について」懇談会
- 13 中野区総合防災訓練
- 16・17 本会議
- 18 特別支援学級とうのやま学級の先生達と懇談
- 19 てくてくてん3
- 22 中野消防団第4分団本部運用開始式
- 24 本会議
- 25 決算特別委員会
- 26・27 障害学会で重度障害者包括支援制度などポスター発表
- 28 9中の養護の先生と懇談
- 29・30 決算特別委員会
- 10月
- 1・2 決算特別委員会 佐藤ひろこ総括質疑
- 5~7 決算特別委員会厚生分科会
- 6 中野区医師会と懇談
- 9 決算特別委員会
- 10 小規模多機能型介護施設「マ・メゾン」内覧会
- 障害者政策研究会実行委員会
- 11 中野まつり
- 12 住民自治をすすめる会・民生委員さん達と懇談
- 13 本会議・コミュニティ政策研究会 in 立教大
- 15・16 厚生委員会
- 17 障害児者の放課後と余暇を豊かにする会「ぶちたま」見学
- 障害者会館まつり
- 18 日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会研究大会
- 20 中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり特別委員会
- 「都市計画と福祉国家」広井良典氏講演会
- 22 本会議
- 23 加藤秀樹氏（事業仕分けの仕掛け人・構想日本代表）講演会
- 自治体財政についての勉強会
- 24 おでんくらぶ（重度の障害児と親の会）
- 26~31 中国北京市西城区・朝鮮民主主義人民共和国
- 平壤産院や朝鮮障害者保護連盟など訪問
- 11月
- 1 佐藤ひろこの区政報告会
- 3 中野ハンディキャブ交流会で霞ヶ浦へ
- 6 立教大学院コミュニティ・マネージメント論の授業でゲスト講師
- 7・8 全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会 in 大阪
- 9 障害者生活支援研究会 in 立命館大学院
- 10・11 厚生委員会視察
- 「和歌山市認知症支援事業」「守口市さんあい広場事業」
- 12 薬物乱用防止中野区民大会
- 13 大谷哲丸氏追悼ドキュメンタリー映像上映会
- 16 厚生委員会
- 17 国の事業仕分けを傍聴

ホームページの日記から

<http://homepage2.nifty.com/usagidayori/>

9月13日

避難所開設訓練

向台小学校で、避難所開設・運営の総合防災訓練が行われた。車いすでも使えるトイレやヘルパーカー、体育館には間仕切りがされ、簡易ベットも置いてあり、体の不自由な人への対応も少しずつされてきている。

ペットの避難訓練も行われ、獣医師会のテントで、名札

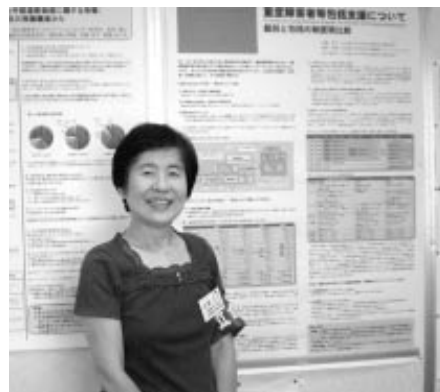


9月26・27日

障害学会で

「重度障害者等包括支援制度間比較」をポスター発表。サービスの支給を制限する口実になっている、国庫負担基準の撤廃が必要である。上限を設けず、かかった費用の半分を国が出すという制度にすればいい。自治体は4分

「重度障害者等包括支援制度間比較」をポスター発表。サービスの支給を制限する口実になっている、国庫負担基準の撤廃が必要である。上限を設けず、かかった費用の半分を国が出すという制度にすればいい。自治体は4分



の1を出すので、財政規模が小さな町村でも、取り組めるような制度設計が必要だ。発達障害、精神障害などの当事者がパネラーになった、障害者学生支援のシンポジウム。学校と社会と連続性のあるサービスの必要性などが訴えられた。

11月3日

中野ハンディキャブ交流会

霞ヶ浦へバス旅行。私は車いす介助ボランティアとして参加。みんな車いすで遊覧船に乗ることができ、楽しんだ。



人権を考える講座第6回

日韓ワールドカップにかかわって
～越境人と手を取り合って～

1月31日(日)午後2～4時
男女共同参画センター研修室

お話 姜誠(カンソン)さん(レポライター)
参加費 200円

共催 タッチの会

重い障害のある子の教育

1月9日(土)午後2～4時
男女共同参画センター保育室
(中野駅南口 勤労福祉会館1階)

お話 下川和洋さん
(特別支援学校教員)

共催 おでんくらぶ

主催 住民自治をすすめる政策研究会